



## 将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



## もくじ

平成30年9月期 第2四半期決算の概要	.3p
平成30年9月期 業績見通し	.16p
当社の事業戦略	.18p

---

## 平成30年9月期 第2四半期決算の概要

## 1. 大幅増収を達成しました

- 売上高 8,214百万円（前年同期比 +2,238百万円 +37.5%）
- 主な増加要因は、前期の新園開設に伴う在籍園児数の増加（1月当たり平均園児数：5,068名→6,243名）および市区町村からの助成金の大幅増額
- 処遇改善のための補助金、家賃補助の増加により、売上高は想定を上回って推移

## 2. 営業利益は大幅増益となりました

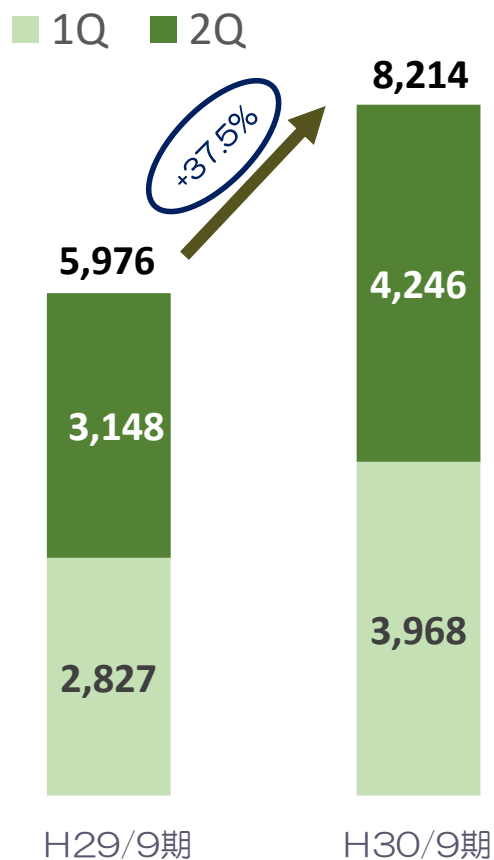
- 営業利益 349百万円（前年同期比 +62百万円 +21.7%）
  - 人件費の処遇改善に伴う計上時期変更（一時的要因）等により増加したほか、租税公課・業務委託費等販管費が増加したが、売上高増加により営業増益
- 経常利益 319百万円（前年同期比 △42百万円 △11.8%）
  - 営業利益が増加したものの、営業外収益の減少（前期2Qは新規開設に伴う補助金収入が1億円計上されたが当期2Qは新規開設なし）が影響
- 営業利益および経常利益は、想定を上回って推移しており上方修正を公表しました

## 3. 4月に16施設（認可保育所15施設、小規模保育1施設）を新規開園

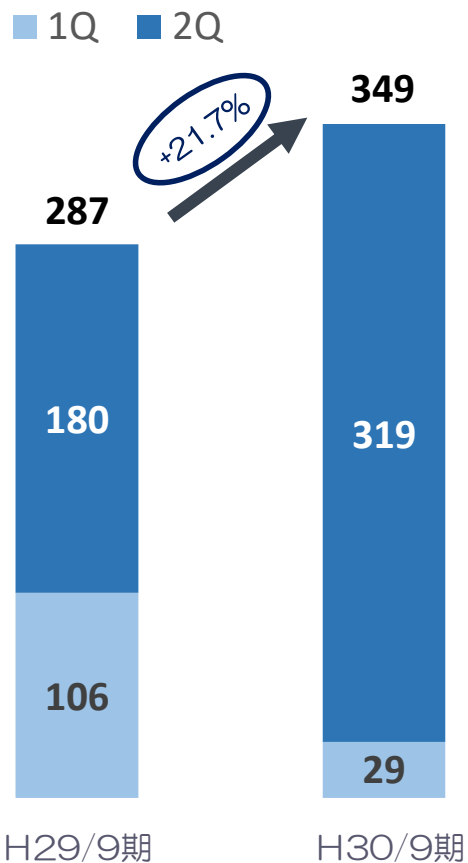
- 今後は、6月に南花畑園（企業主導型保育所）、8月に南砂園（認可保育所）を開設する予定

# 平成30年9月期 第2四半期業績概要

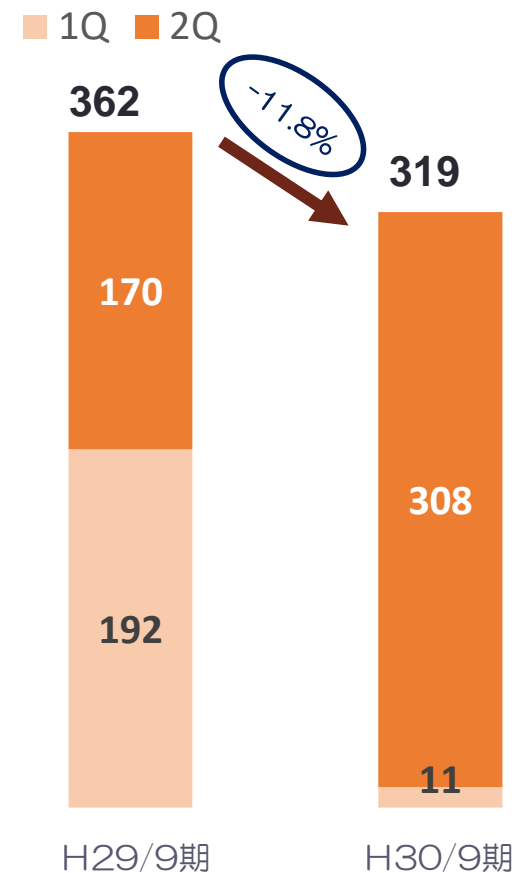
## 売上高



## 営業利益



## 経常利益



単位：百万円

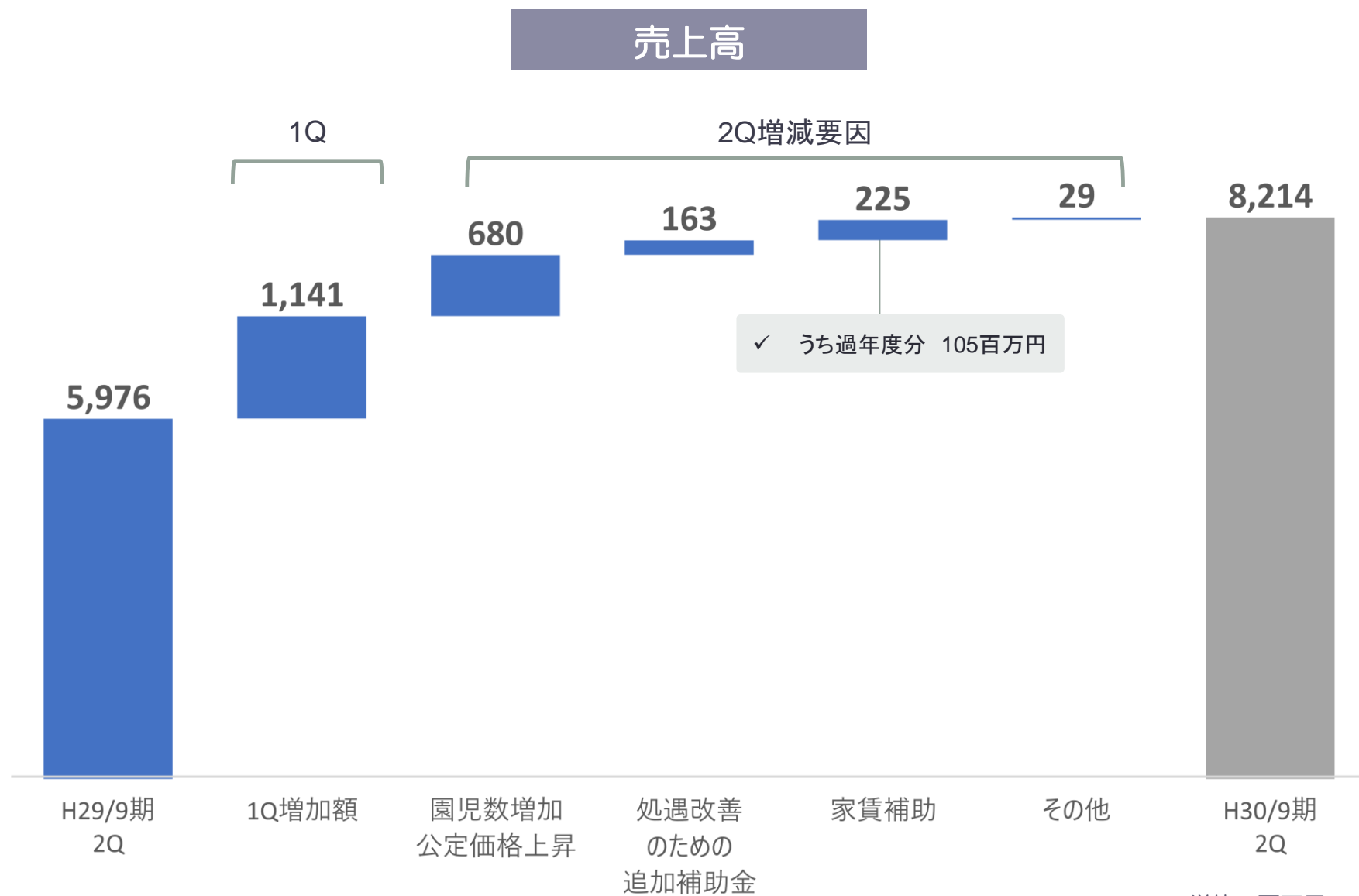
# 平成30年9月期 第2四半期業績

(単位:百万円)

	平成29年9月期 2Q累計		平成30年9月期 2Q累計		
		構成比		構成比	前年比
売上高	5,976	100.0%	8,214	100.0%	+37.5%
売上原価	4,917	82.3%	6,926	84.3%	+40.9%
売上総利益	1,059	17.7%	1,288	15.7%	+21.6%
販売費及び 一般管理費	772	12.9%	939	11.4%	+21.6%
営業利益	287	4.8%	349	4.3%	+21.7%
営業外収益	115	—	4	—	△95.8%
営業外費用	40	—	34	—	△14.5%
経常利益	362	6.1%	319	3.9%	△11.8%
税前四半期 純利益	362	6.1%	319	3.9%	△11.8%
法人税等	37	—	152	—	+309.7%
当期純利益	325	5.4%	167	2.0%	△48.6%

- ◆ 園児数増加と公定価格改定により前年同期比14.4億円(うち2Q会計期間6.8億円)増加
- ◆ 処遇改善のための助成金増額で同4.9億円(うち2Q会計期間1.6億円)増加。うち一時的要因は2億円
- ◆ 東京都自治体で新規に支給されるなど家賃補助が2.2億円増加
- ◆ 処遇改善の助成金に伴う人件費は前年同期比6億円増加。うち一時的要因は3.4億円
- ◆ 租税公課が増加したものの、採用費減少等により販管費率が低下
- ◆ 当期2Qは新規開設がなく補助金収入が減少
- ◆ 当期は繰越損失がなくなったため税率が上昇

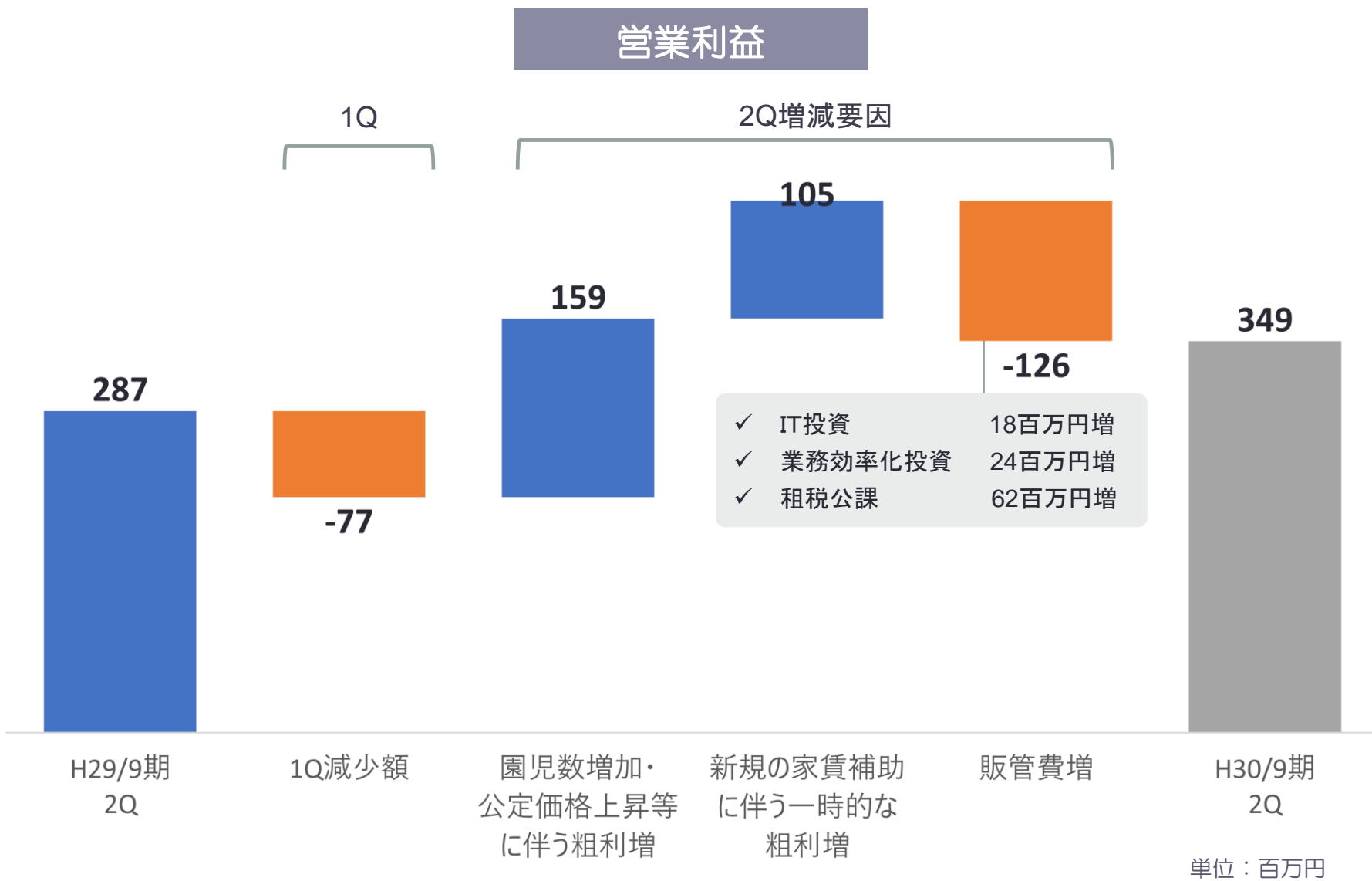
# 平成30年9月期 第2四半期 売上高前年同期比増減要因



単位：百万円

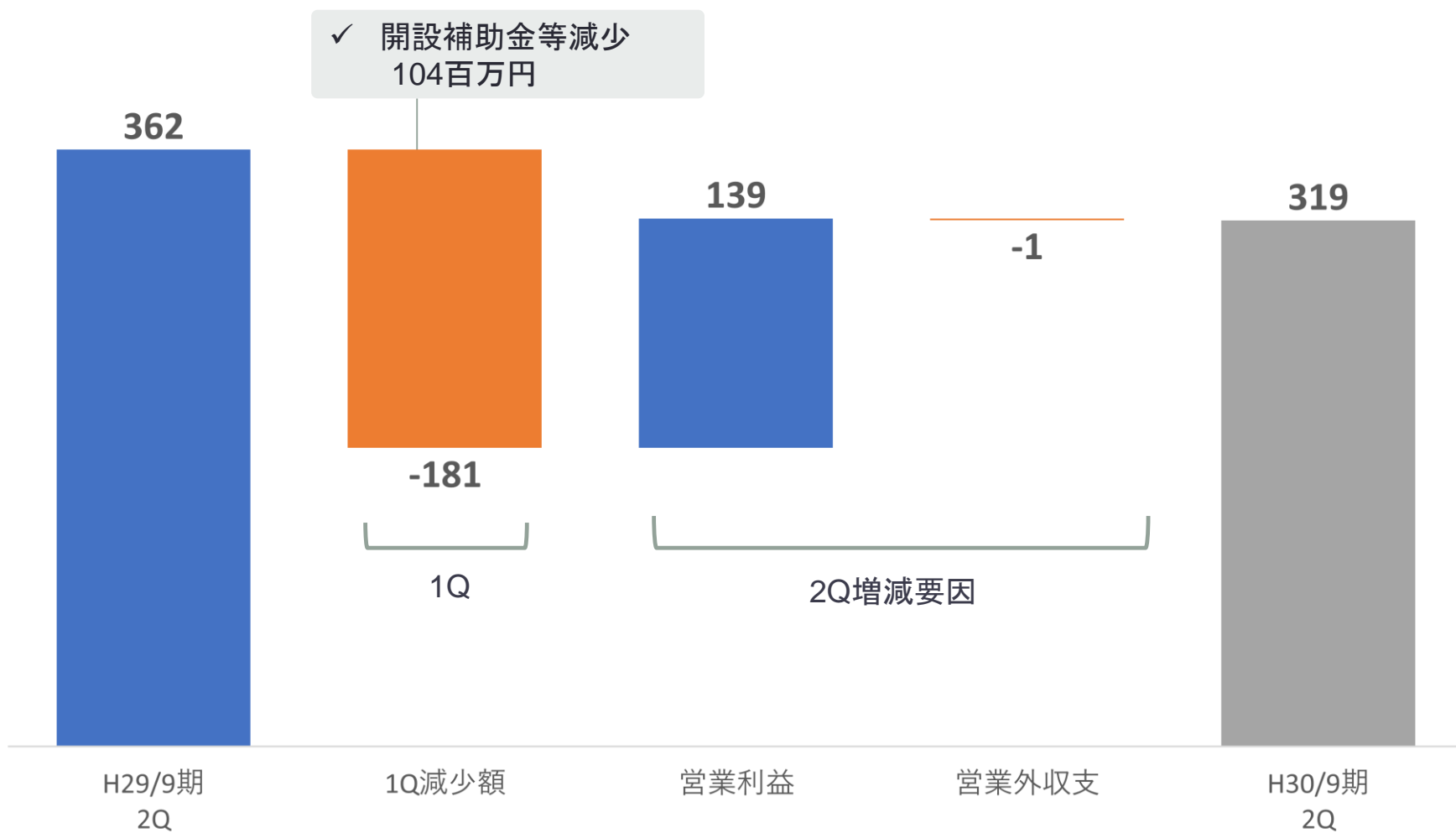


# 平成30年9月期 第2四半期 営業利益前年同期比増減要因



# 平成30年9月期 第2四半期 経常利益前年同期比増減要因

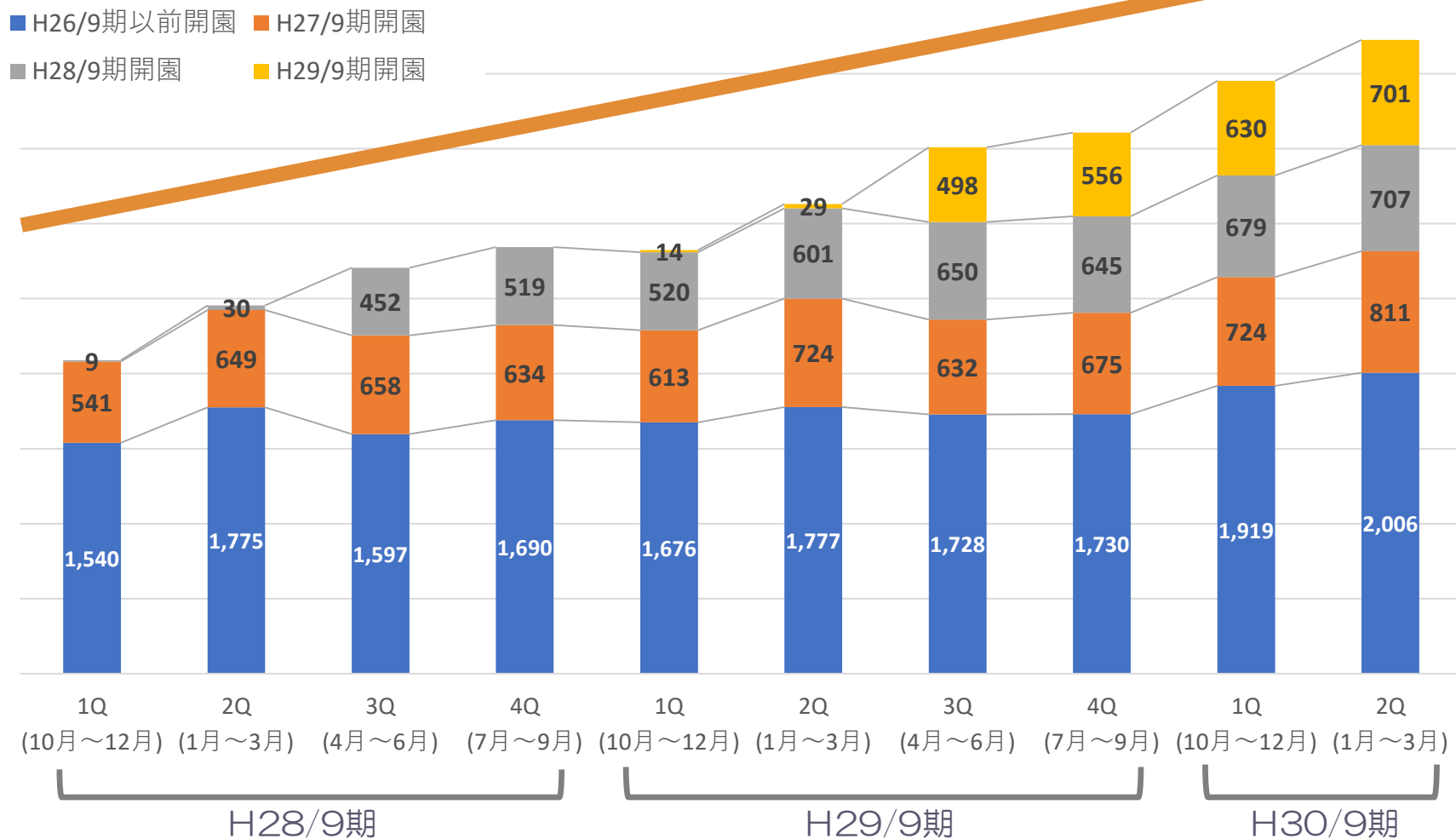
## 経常利益



単位：百万円

# 開設期別 四半期毎売上高の推移

- 四半期毎の売上高は順調に増加
- 新園(平成29年9月期開園)の売上高は入所率上昇に伴い拡大



単位：百万円

# 貸借対照表

(単位:百万円)

	平成29年 9月期末	平成30年9月期 2Q末	増減額
<b>流動資産</b>	<b>2,645</b>	<b>5,716</b>	<b>3,070</b>
現預金	1,246	3,555	2,309
<b>固定資産</b>	<b>11,307</b>	<b>12,818</b>	<b>1,511</b>
有形固定資産	8,789	10,288	1,499
<b>資産計</b>	<b>13,952</b>	<b>18,534</b>	<b>4,581</b>
流動負債	2,472	5,743	3,271
固定負債	5,555	6,617	1,062
<b>負債計</b>	<b>8,028</b>	<b>12,361</b>	<b>4,333</b>
<b>純資産</b>	<b>5,924</b>	<b>6,172</b>	<b>248</b>
<b>負債・純資産計</b>	<b>13,952</b>	<b>18,534</b>	<b>4,581</b>
有利子負債	4,167	8,191	4,024
自己資本比率	42.5%	33.2%	—

- ◆ 借入実施により現預金が増加
- ◆ 平成30年4月の新規開設準備のため建設仮勘定が増加し、固定資産が15.1億円増加

- ◆ 短期借入により流動負債が増加
- ◆ 長期借入金が増加により固定負債が増加

- ◆ 有利子負債は、新規開園に向けた借入により増加
- ◆ 借入実施により自己資本比率が低下

# キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	平成29年9月期 2Q	平成30年9月期 2Q
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△183</b>	<b>35</b>
税金等調整前四半期純利益	362	319
減価償却費	233	284
未収入金の増減額(△は増加)	△139	△432
前払費用の増減額(△は増加)	△315	△351
前受金の増減額 (△は減少)	△120	△150
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△1,987</b>	<b>△1,773</b>
有形固定資産の取得による支出	△1,790	△1,783
敷金及び保証金の差入による支出	△133	△70
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>2,104</b>	<b>4,047</b>
借入金及び社債の純増減(△は減少)	2,105	4,024
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<b>△65</b>	<b>2,309</b>
現金及び現金同等物の期首残高	<b>1,474</b>	<b>1,246</b>
現金及び現金同等物の期末残高	<b>1,408</b>	<b>3,555</b>

# 平成30年9月期新規施設

所在地	施設名(仮称)	想定定員数	施設形態	開園予定時期
東京都 新宿区	グローバルキッズ愛住町園、 西新宿園	80名/51名	認可	平成30年4月(開園済)
大田区	グローバルキッズ鶉の木園、 雑色園	39名/54名	認可	平成30年4月(開園済)
渋谷区	グローバルキッズ幡ヶ谷園、 代々木上原園、代々木八幡園	81名/79名/79名	認可	平成30年4月(開園済)
杉並区	グローバルキッズ松庵園	70名	認可	平成30年4月(開園済)
豊島区	グローバルキッズ椎名町園、 池袋駅前保育園、千早園	25名/20名/26名	認可	平成30年4月(開園済)
江戸川区	グローバルキッズ船堀園	94名	認可	平成30年4月(開園済)
江東区	グローバルキッズ南砂園	99名	認可	平成30年8月(予定)
足立区	グローバルキッズ南花畑園	26名	企業主導型	平成30年6月(予定)
神奈川県 横浜市	グローバルキッズ子安駅前保育園、 綱島SST保育園	60名/17名	認可/小規模保育	平成30年4月(開園済)
埼玉県 戸田市	グローバルキッズ戸田駅前保育園	60名	認可	平成30年4月(開園済)
大阪府 大阪市	グローバルキッズ住之江園	80名	認可	平成30年4月(開園済)

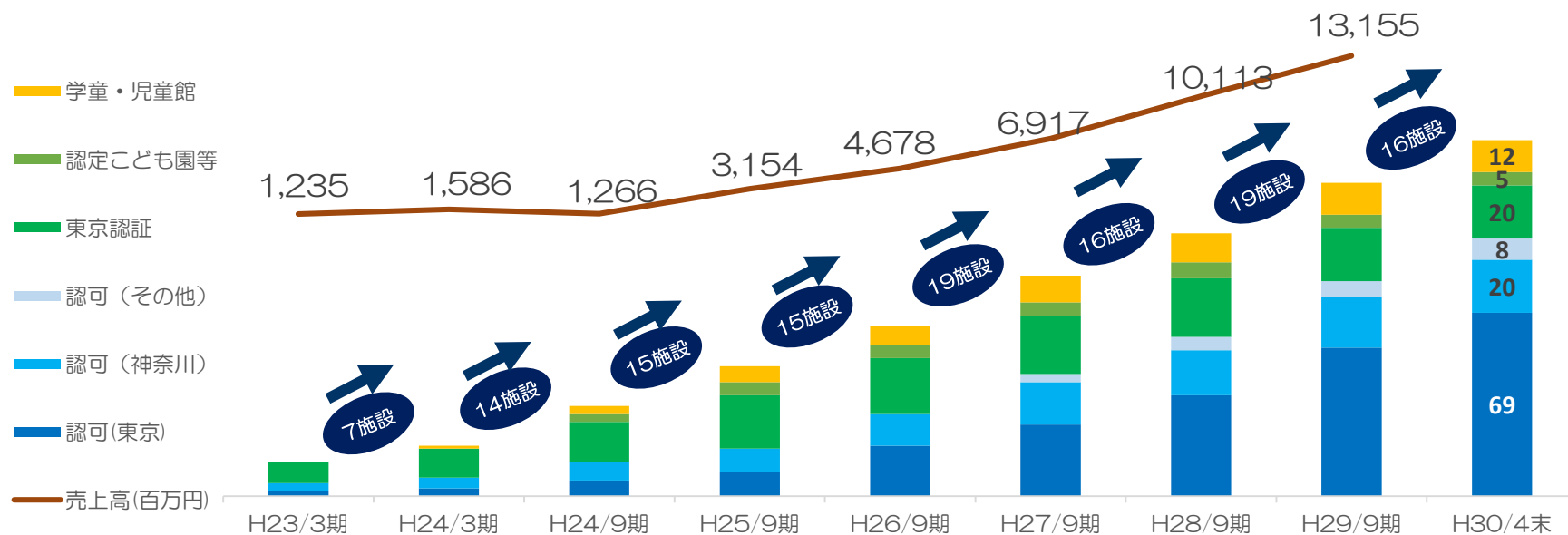
保育所：18施設

1,040名

※予定は変更されることがあります

# 運営施設数の推移

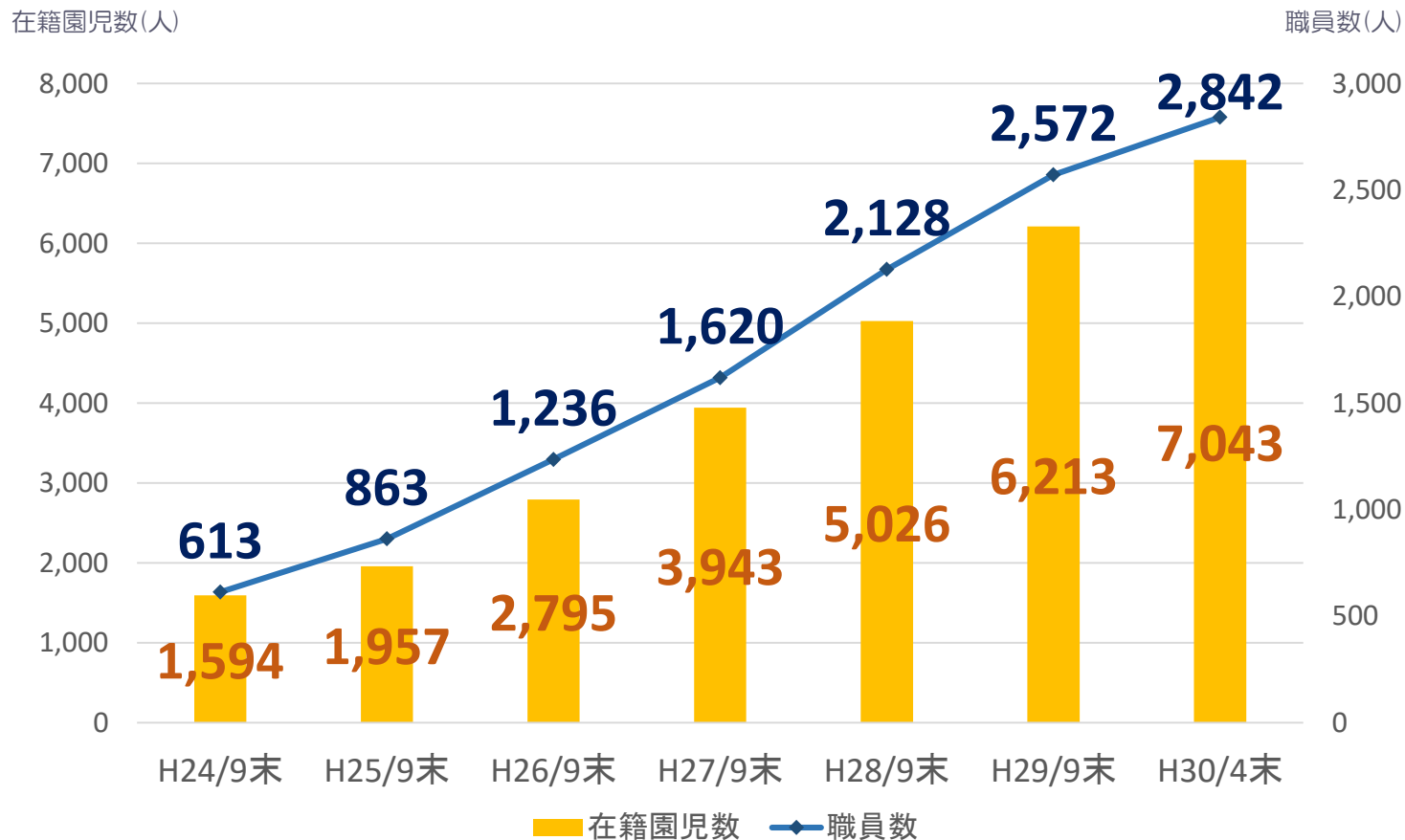
## ■ 現在合計134施設(平成30年4月30日時点)を運営



	H23/3期	H24/3期	H24/9期	H25/9期	H26/9期	H27/9期	H28/9期	H29/9期	H30/4末
認可(東京都)	2	3	6	9	20	28	38	56	69
認可(神奈川県)	3	4	7	9	12	16	17	19	20
認可(千葉県)	0	0	0	0	0	2	3	3	3
認可(埼玉県)	0	0	0	0	0	0	0	0	1
認可(大阪市)	0	0	0	0	0	1	2	3	4
東京都認証	8	11	15	20	20	21	22	20	20
認定こども園等	0	0	1	1	1	1	2	2	1
小規模保育園	0	1	2	4	4	4	4	3	4
学童・児童館	0	1	3	6	7	10	11	12	12
<b>合計</b>	<b>13</b>	<b>20</b>	<b>34</b>	<b>49</b>	<b>64</b>	<b>83</b>	<b>99</b>	<b>118</b>	<b>134</b>

注：H27年9月期以前の売上高については(株)グローバルキッズ連結数値となります  
認定こども園等には小規模保育を含みます

## 在籍園児数と職員数の推移



在籍園児数：学童クラブ・児童館に在籍する児童数は含まず  
職員数：本部職員・パート職員等を含む



---

## 平成30年9月期 業績見通し

# H30年9月期連結 業績修正の概要

(単位:百万円)

	平成29年9月期		平成30年9月期業績見込み				
			前回見通し		修正見通し		
		構成比		構成比		構成比	前期比
売上高	13,155	100.0%	16,245	100.0%	17,000	100.0%	+29.2%
売上原価	11,053	84.0%	13,720	84.5%	14,350	84.4%	+29.8%
売上総利益	2,102	16.0%	2,525	15.5%	2,650	15.6%	+26.1%
販売費及び 一般管理費	1,695	12.9%	2,247	13.8%	2,280	13.4%	+34.5%
営業利益	407	3.1%	278	1.7%	370	2.2%	△9.1%
営業外収益	1,594	—	1,594	—	1,900	—	+19.2%
営業外費用	523	—	533	—	570	—	+8.9%
経常利益	1,477	11.2%	1,339	8.2%	1,700	10.0%	+15.0%
特別損益	△228	—	0	—	△20	—	—
税引前 当期純利益	1,248	9.5%	1,339	8.4%	1,680	9.9%	+34.5%
法人税等	457	—	484	—	530	—	+15.9%
当期純利益	791	6.0%	855	5.3%	1,150	6.8%	+45.3%

## 平成30年9月期 主な修正要因

◆ 処遇改善や家賃補助など保育所運営に係る助成金等が想定より増加

◆ 売上原価は、処遇改善のための助成金に伴う人件費増加により増加

◆ 下期に業務効率化投資やIT投資を積み増すため販管費が増加

◆ 設備投資に係る補助金収入が、当初想定より増加し営業外収支が改善

◆ 下期に減損損失を計上する予定であるものの、経常利益の増加により、当期純利益は前回見通しを上回る見込み

---

## 当社の事業戦略

ビジョン

質・量ともに  
日本一の子育て支援会社へ

戦略

- ✓ ドミナント戦略に基づいた施設数拡大
- ✓ 働き方改革による人材確保・定着
- ✓ 保育のクォリティーUP
- ✓ 運営体制の徹底強化(IT化等) 等

- 直近2-3年は、先行投資期
- 投資により筋肉質な強い会社へ

強み

人材確保

- 理念経営
- 職員第一の経営施策
- 採用戦略の多様化

新園開発力

- 首都圏中心の豊富な  
パイプライン
- 開発実績と実行力
- 特化チームによる開発

保育の質

- 充実した保育の研修制度
- 海外保育からの学び

# 東京No1の運営規模

待機児童が最も集中する東京において当社は、業界トップの運営規模※

運営者	東京での施設数※		東京での定員合計(人)※	
	4月末	H29/10末比	4月末	H29/10末比
<b>1 当社グループ</b>	<b>92</b>	<b>+12</b>	<b>5,908</b>	<b>+698</b>
2 A社	74	+7	約5,300	+500
3 B社	79程度	+4	約3,800	+300
4 C社	57	+13	約3,800	+800
5 D社	75	+9	約3,300	+400

平成30年8月  
時点では、  
**94施設**、定員  
**6,033人**とな  
る予定

※ 平成29年10月末および平成30年4月末時点の各社Website等より集計した当社推計値に基づく

## ◆ 「人(職員)」を大切に、「輝いた大人」を実現する施策を加速

### 1. 輝き度調査

- ✓ 全職員の意識・課題サーベイ

### 2. リンカーン会議

- ✓ 職員自らによる改革コミッティー

### 3. チームブック

- ✓ 職員自らが施設ビジョンを考える

### 4. ゲンバル制度

- ✓ 本社社員の現場参画

### 5. 子育て応援

- ✓ 子育て手当補助を一部開始
- ✓ 子どもが3歳になるまで育児休業を延長  
(法定では2歳まで)
- ✓ 子どもが小学校卒業まで育児短時間勤務を延長  
(法定では3歳まで)

### 6. 有休取得促進制度

- ✓ アニバーサリー休暇
- ✓ いつでも休暇
- ✓ 孫の誕生休暇
- ✓ 高い自由度

### 7. GKアプリ

- ✓ 全社職員がつながるコミュニケーション  
手段の構築

### 8. 現場職員の処遇改善を実施

- ✓ 月額報酬：平均6.2%Up  
(年収：平均3.2%Up)

## ◆スマート保育園構想とは？

- 積極的なIT活用、その他先進設備の活用を通じた、事務および心理的負担軽減の実現に向けた構想

## ◆具体的な施策

- ✓ IT導入や設備への配慮を実施
  - 午睡(お昼寝)センサーや自動検温計、保育支援システムなど一部実験導入
- ✓ 2018年6月1日にモデル園を開設
- ✓ 今後は、画像解析や保育へのAI活用等も積極的に取り組む予定

## ◆パートナーエージェントより保育事業を譲受

- ✓ 株式会社パートナーエージェントが東京都内に展開する保育施設「めばえ保育ルーム」の譲受を決定
- ✓ 「めばえ保育ルーム」は、現在東京都内に6施設を展開
- ✓ さらに、平成30年10月以降に「めばえ保育ルーム」を3施設を開設する予定

めばえ保育ルーム

mebae hoiku room





## ◆保育枠をシェアリング

- ▶ 各地域の企業主導型保育園をシェアして利用する  
“えんマッチ” サービスを開始



- ✓ めばえ保育ルームの事業譲受により当社グループの企業主導型保育事業に登録する保育施設数は合計32施設、利用側の企業群は80社強となる予定

## ◆ベトナム現地企業と合併会社設立へ

### ◆ SNB社 と基本契約を締結

合併会社を設立しベトナムでの保育事業を推進する



### ➤ SNB社概要

社名：SNB KIDDEN WORLD COMPANY LIMITED

設立：2007年11月16日

事業内容：生活用品の卸・輸入販売、玩具等の製造販売、ほかアイクレオ（グリコグループ：粉ミルク）はじめ、様々な日本製品のベトナムにおける販売代理店でもあります。また同社は、「メリーズ」商品（花王）のベトナム国内のベビーマタニティ専門店における正規販売代理店です。



2015年5月22日以来、SNB社は「アイクレオ」商品（グリコグループ）のベトナム国内における唯一の輸入・販売代理店です



ご清聴いただき  
ありがとう  
ございました！

◆ホームページ

[www.globalg.co.jp/](http://www.globalg.co.jp/) 株式会社グローバルグループ公式サイト

<http://www.gkids.co.jp/> 株式会社グローバルキッズ公式サイト

<http://www.gk-recruit.jp/> 株式会社グローバルキッズ採用サイト

<https://www.facebook.com/Gkidsbook/> 公式フェイスブック

<https://www.instagram.com/globalkids/> 公式インスタグラム

<http://shoku.hapiku.com/> 子育て情報Webマガジン「HAPIKU」

[https://www.instagram.com/global\\_kids/](https://www.instagram.com/global_kids/) 大好評マンガコンテンツ「グローバルキッズ！」

<https://twitter.com/globalkids> 大好評マンガコンテンツ「グローバルキッズ！」

